

働き方改革シンポジウム

2月19日(火) 午後1時30分～5時 甲西文化ホール

「働き方改革」は、人手不足解消・女性活躍推進・障がい者雇用拡大など、様々な労働問題を解決し、ひとり一人がいきいきと働いて活躍できる会社づくりのための取組です。

そうした取組を紹介しながら、「多様な働き方」ができる職場環境整備のきっかけをお伝えします。

基調講演

「働き方の多様化ができる会社できない会社～少子高齢化時代の生き残り方～」

■講師

松村克彦さん
(サイボウズ株式会社 社長室
クラウドソーシャルデザイナー)

※当日は手話通訳があります。

※このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

事例発表

①「働き方を見直せば組織はもっと成長する！

～輝くように働く社員が社風をつくる～」

古志野純子さん(株式会社長岡塗装店 常務取締役)

②「オムロン京都太陽における障がい者雇用拡大の取り組み」

宮地功さん(オムロン京都太陽株式会社 代表取締役)

パネルディスカッション

＜コーディネーター＞ 松村克彦さん

＜パネリスト＞ 古志野純子さん、宮地功さん、谷畑市長

■申込方法 2月12日(火)までに☎へ

☎商工観光労政課(共同福祉施設) ☎71・2332 ☎72・4820

もったいない！ 食品ロスを減らしましょう！

「食品ロス」は、食品廃棄物のうち「食べられるのに廃棄された食品」です。日本では年間2,800万トンの食品廃棄物が発生しており、そのうち約621万トンが食品ロスとされています。これは全ての人が毎日ご飯1杯分相当の食品を食べずに捨てている計算になります。食べられる食品を廃棄することは、もったいないことであるとともに、環境負荷にもつながるため大きな課題となっています。普段の買い物や料理の一工夫で食品ロス削減につながります。できることから始めましょう。

私たちができる身近な 食品ロス対策

●食材を買いすぎず、使い切ることを心がける
買い物に行く前は、在庫を確認して、必要なものだけを購入しましょう。

●「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解する
「消費期限」とは、食べても安全な期限のことで、「賞味期限」とは、「おいしく食べられる期限」のことです。これらの違いを理解し、食品の状態を確認しながら、食べられるかどうかを判断しましょう。

今年の新年会から 始めましょう！

3010運動(さんまる・いちまるうんどう)

3010運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、「乾杯後30分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう」「お開き10分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう」と呼びかけて、食品ロスを削減するものです。

「もったいない」気持ちを持って、宴会を楽しんでください。

☎生活環境課(東庁舎) ☎71・2358 ☎72・2201